



川越U PLACE店(埼玉県)
マネージャー
前野 玲偉さん

まえの れい／マクドナルドで楽しく働く母や姉、双子の兄の姿を見て、川越U PLACE店で働き始める。AJCC(オール・ジャパン・クルー・コンテスト)*にも二度出場し、東日本地区本部戦まで勝ち上がった。

*全国のクルーがトレーニングで習得した技能を競いあうレコグニションプログラム

楽しめるお店

今年の5月からはマネージャーに昇進し、店舗全体をリードする役割を担うようになった。お客様や仲間、店舗の状態を常に観察しながら、前野さんは「自分が勝ち上がり、悲願だった恩返しができた」という想いが、自分が働く上で大きな原動力であることを発見した。



トレーニングの信念

前野さんが働き始めるごとに、お店が明るくなっていく。クルー一人ひとりの名前を呼んで、目を見てあいさつをするのはもちろん、特に印象的なのは仲間へのフィードバックとレコグニションだ。「キレイに作れたね!」「早くなつたよ!」「ありがとうございました!」。ポジティブな言葉が常に店内にあふれ、クルーたちはどんどん笑顔になっていく。

「前野さんと一緒に働く」ととにかく楽しいんです。モチベーションが上がり、自然ともっと頑張りたい



恩返しと発見

入店してからずつと、前野さんはベテランマネージャーの石橋さんとのトレーニングを受けてきた。今では想像できないが、前野さんも最初の頃はミスをすることや周りの先輩のスピードについていけないことがあった。ただ、どんな時でも石橋さんはいつも大きな心で受け止めてくれ、働きながら的確なアドバイスと前向きな声かけをしてくれた。「本当にありがとうございましたですね」。偉大な先輩への感謝を口にする前野さんのトレーニングは、石橋さんか

ら大きな影響を受けていく。
入店して1年ほどの月日が経つた頃、前野さんに恩返しができるチャンスがやってきた。アッセントラー*のポジションで店舗の代表としてAJCCに挑戦することになったからだ。店舗の誰もが認めるほどの努力を重ねてスキルを磨いていたが、自然と力が湧いてくる前野さん。「それまで生きてきていた中で、こんなにも夢中になれたのはAJCCが初めてかもしれない。自分が勝ち上がるところで、石橋さんはA J C C が初めてかもしれない。自分が勝ち上がるごとに、仲間と一緒に前野さん。『今まで生きてきました』。見事に東日本地区本部戦まで勝ち上がり、悲願だった恩返しができた前野さん。同時に、仲間にために、自分の力があることを発見した。

「お店に関わる全員が笑顔になれる店舗運営を目指していく」「目標に向かって店舗の全員で協力し合って頑張れる。そんな一体感もマクドナルドで働く楽しさだと考えています。今後はマネージャーとして、多くのお客様に満足していただける楽しい店舗づくりに貢献していきたいですね」。みんなの『楽しさ』を追いかけ続ける前野さんが、なんだから一番楽しそうだ。

*パンズにバティやソースを乗せラップで包むまでを担うポジション



と思えます」。後輩の並木さんは、彼のトレーニングを絶賛する。
前野さんはこの店舗で学び、築いてきたトレーニングの信念がある。「仕事を教えるのではなく、『仕事の楽しさを感じて』これがトレーニングだと思っています。樂しげかっこいい」。クルーは成長できるんです。そして、トレーニングが成長する姿を見られることが、僕自身の仕事の楽しみでもあります」。

親子で一緒に働くって、どうですか？

一緒に働いていて、よかったですとはありますか？

玲偉さん 家で仕事の話ができるようになったことです。あと、美喜さんの働きぶりを近くで見ることができ、いろいろと学べるところも良かったと思っています。

美喜さん 子供の働く姿、成長していく姿を間近で見ることができるのは、やはりうれしいです。

お互いにすごいと感じているところを教えてください。

玲偉さん 美喜さんが働き始めるとき、お店全体がパッと明るくなるところです。特にマネージャーになつてからは、「そんなところまで目が届いているんだ！」と察察能に驚くことがたくさんあります。

美喜さん 楽しい雰囲気を作れるところですね。まだマネージャーになつたばかりですが、早速クルー一人ひとりに目標を伝えたり、やる気を引き出す声かけができており、良いスタートが切れていると思います。

今後も一緒に働いていく上で、改めて伝えておきたいことはありますか？

玲偉さん これからも美喜さんの仕事から多くを学び、背中を追いかけていきたいです。厨房のオペレーションに関しては自信があるので、お互いの強みを生かして何か新しい挑戦ができるだと思っています。

美喜さん 息子ではありますが、店舗では誰にでも優しいマネージャーとして頼りにしています。これからも店舗のみんなと一緒にやりたいことにどんどん挑戦してください。



川越U_PLACE店でお母さんと一緒に働いている前野 玲偉さん。親子で同じお店で働くのって、実際どうなのでしょうか？

2人にそれぞれ、本音を聞いてみました！

お店では、お互いのことをどう呼んでいますか？

玲偉さん 最初は前野さんと呼んでいたのですが、僕も妹も同じお店で働いているので、今は「美喜さん」と呼んでいます。ただ、いまだに何て呼ぶのが正解なのか、分かりません(笑)。

美喜さん 難しいのですが、お店でも変わらず「玲偉」と呼んでしまっていますね。ただ、働いている時は息子というよりは、一人の仲間として接しています。

同じお店で一緒に働くことに少し抵抗はあつたりしたのでしょうか？

玲偉さん 僕はまったくなかつたです。家族全員仲が良いですし、元々母の働く姿がかつこよくて、楽しそうだったことがお店で働き始めたきっかけでもあるので。

美喜さん 私の方は一緒に働くことになってうれしかったのですが、本当に同じお店で良いのか確認しました。4人子供がいて、4人とも一緒にマクドナルドで働きましたが、全員に事前に確認しています。



店長
宮里 こずえさん

店長からひと言！

2人に共通しているのは、働き始めた瞬間にお店の雰囲気を一気に明るくできるところです。玲偉さんは、クルーだけでなく、店長の私や先輩たちのことも自然と褒めてくれる生粋のモチベーターだと思っています。美喜さんは、当店にいる40人以上のGEL（おもてなしリーダー）をまとめる頼れる存在で、お客様に笑顔になっていただく上でなくてはならない存在です。今後は同じマネージャーとして、お店をさらにポジティブに、楽しい場所にしていってもらいたいと思っています。